

NTTドコモでは、スマートフォンや携帯電話の利用に関連した危険やトラブルを未然に防ぐために、対応方法を啓発する「スマホ・ケータイ安全教室」を実施しております。本資料は、「スマホ・ケータイ安全教室」を学校等で自主的に開催する際に使用していただける、オンデマンド教材（動画教材）の活用方法について解説しています。

スマホ・ケータイ安全教室のお申込み窓口、オンデマンド教材のほか各種教材は下記ホームページに掲載しています。

<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/educational/>

## オンデマンド教材（動画教材）

### ■ナレーション教材



### 応用編（中高生向け）教材

「スライド教材」と「再現ドラマ」を組み合わせたナレーション教材

### ■再現ドラマ



実際にあったトラブルを元にした再現ドラマ  
テーマの必要性や時間の希望に合わせて補足資料として活用できる

【応用編 映像教材】 重点を置きたいテーマがありましたら、下記から個別にご利用ください。

テーマ	タイトル	時間
メッセージのやりとり	<a href="#">友達を追い詰めるメッセージ</a>	4:38
	<a href="#">メッセージのやりとりによるすれ違い</a>	4:27
自分や友達の情報	<a href="#">動画SNSへの自己発信</a>	4:22
	<a href="#">軽はずみな投稿（炎上）</a>	3:51
姿の見えない人とのやりとり	<a href="#">インターネット上のなりすましによるトラブル（SNS）</a>	4:01
	<a href="#">インターネット上のなりすましによるトラブル（ゲームアプリ）</a>	3:42
スマホに振り回されないためにフィルタリングの利用	<a href="#">長時間使用</a>	3:44
	<a href="#">フィルタリングサービスの概要と重要性</a>	4:00

## そのほかの教材（ホームページよりダウンロードが可能です）

### ■ワークシート（A4両面）



### ■ポイントブック（A5冊子）



主にSNSやコミュニケーションアプリの使い方についてをテーマに作成された冊子です。子どもたちを守るためのフィルタリングの案内や相談窓口の一覧などが記載されていますので、保護者に読んでいただけるようお伝えください。

### 【使用にあたっての注意事項】

- 接続環境によっては、映像の一部が見切れる場合がございます。予めご了承ください。
- ご利用には別途通信料がかかることがあります。
- 録画、録音、複製、動画データのダウンロードは禁止です。

ナレーション教材は全編で約30分です。4つのテーマに、冒頭の導入とまとめを加えた6つの区分に分かれており、続けて再生することができます。また、各テーマを深く学ばせたい場合は、必要なテーマだけを選択して使用することも可能です。課題やワークなどで子どもたちに考えさせる時間を作りましょう。



■全編で再生する例



■一部のテーマだけ再生する例



内容とねらい

インターネットやスマートフォンをあんしん・安全に使うにはどんなことに気をつければよいか、4つのテーマごとの事例を見ながら「上手に使いこなす」ポイントを学びます。

1. メッセージのやりとり (1:32～)

内容：コミュニケーションアプリなどでの「非対面でのコミュニケーション」について  
ねらい：文字だけでは気持ちが伝わりにくいことを知る

2. 自分や友達の情報 (14:15～)

内容：SNSなどへの書き込み、写真や動画の投稿について  
ねらい：「個人が特定される」「一度載せたら削除できない」などインターネットのリスクを知る

3. 姿の見えない人とのやりとり (20:40～)

内容：インターネットでの出会いや「なりすまし」の危険について  
ねらい：「インターネットで知り合った人に会うこと」「個人情報や写真を送ること」の危険を知る

4. スマホに振り回されないために (24:30～)

内容：長時間利用や子どもたちを守るための機能「フィルタリング」について  
ねらい：「自己管理能力」について知る／保護者とフィルタリングの設定を確認することを促す

■準備するもの

- ・オンデマンド教材を再生するためのインターネット接続ができる機器（パソコンやタブレットなど）
- ・オンデマンド教材を投影するための機器（プロジェクターや電子黒板など）、ケーブル
- ・ワークシートやポイントブック×参加者の人数分 ※スマホ・ケータイ安全教室のホームページからダウンロード可能（使用は任意）

■事前の準備

機器を設置し、インターネット回線に接続します。オンデマンド教材が問題なく再生されるか確認し、映像や音量などを調整しておきましょう。使用する場合は、ワークシートやポイントブックを印刷しておきましょう。

進行例：ナレーション教材を全編（約30分）で再生しつつ、双方向で教室を進行する  
 ねらい：①自分事として考える  
 ②様々な感じ方、捉え方があることに気付かせる

時間	内容	学習活動		留意点
		教師の指導	生徒の活動	
3	導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室実施の目的を伝える</li> <li>・使用するワークシートを配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な事例をふまえて、自分事として考えるよう強調する</li> </ul>
2	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナレーション教材を再生</li> </ul>		
11	メッセージのやりとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）「まじめだね」と「いつでもいい」というメッセージをどう受け取ったか書き出させる（約30秒）</li> <li>・ナレーション教材を一時停止（4:45）</li> <li>・生徒を指名し、気になったところを答えさせる</li> <li>・ナレーション教材を再生</li> <li>・（ワーク）友達を追い詰めることを止めるためにどのような行動をとるか書き出させる（約30秒）</li> <li>・ナレーション教材を一時停止（12:07）</li> <li>・生徒を指名し、どう受け取ったかを答えさせる</li> <li>・ナレーション教材を再生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）「まじめだね」と「いつでもいい」というメッセージをどう受け取ったか書く（約30秒）</li> <li>・指名された生徒は答える</li> <li>・（ワーク）友達を追い詰めることを止めるためにどのような行動をとるか書き出す（約30秒）</li> <li>・指名された生徒は答える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じてワーク時間は調整</li> <li>・隣同士での共有、もしくは代表者に答えさせる</li> <li>・生徒により受け取り方に違いがあるため、否定はしない</li> <li>・隣同士での共有、もしくは代表者に答えさせる</li> <li>・生徒により受け取り方に違いがあるため、否定はしない</li> </ul>
8	自分や友達の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）で個人につながる情報を探させる（約30秒）</li> <li>・ナレーション教材を一時停止（15:50）</li> <li>・生徒を指名し、答えさせる</li> </ul> <p>◆回答例</p>  <p>左 :3人の顔/名前              真ん中:カフェの名前/場所（電柱）/              友達の名前              右 :顔/「カフェの近くに〇〇ちゃんの家がある」の書き込み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナレーション教材を再生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）で個人につながる情報を探す（約30秒）</li> <li>・指名された生徒は答える</li> <li>・回答を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答の確認は、ナレーション教材内で実施</li> </ul>

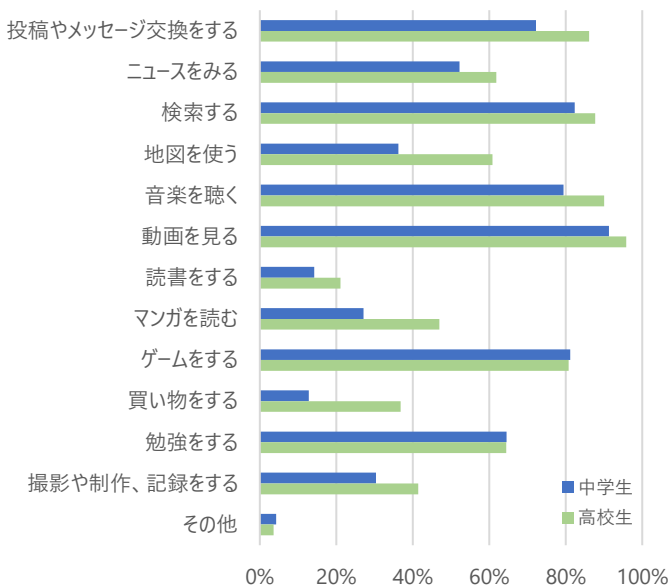
進行例：ナレーション教材を全編（33：21）で再生しつつ、双方向で教室を進行する  
 ねらい：①自分事として考える  
 ②様々な感じ方、捉え方があることに気付かせる

時間	内容	学習活動		留意点
		教師の指導	生徒の活動	
5	姿の見えない人とのやりとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）信用できると判断するポイントを書き出させる（約30秒）</li> <li>・ナレーション教材を一時停止（22:33）</li> <li>・隣同士で共有させる</li> <li>・ナレーション教材を再生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）信用できると判断するポイントを書く（約30秒）</li> <li>・隣同士で共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じてワーク時間は調整</li> <li>・代表者に答えさせてもよい</li> </ul>
8	スマホに振り回されないために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）振り返りであてはまるものにチェックを入れさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）振り返りであてはまるものにチェックを入れさせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナレーション教材はそのまま再生する</li> </ul>
2	まとめ	ナレーション教材を停止		

10	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身が何にどのくらい使っているかを知ること大切</li> <li>・スマートフォンやインターネットが必要不可欠なツールになっているからこそ、自分を守りながら使いこなす力を身につける</li> <li>・使うアプリや機能を整理し、保護者と相談してあんしん・安全に使う方法を決める</li> <li>・（ワーク）まとめに感想を書かせる （・生徒を指名して感想を言わせる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（ワーク）まとめに感想を書く （・指名された生徒は答える）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※重点を置きたいテーマがあった場合、映像教材で補足する</li> <li>・ワークシートを一旦回収する場合、まとめ欄を活用し、困っていることやどのようにスマホを利用しているのか、生徒に実情を書かせてもよい</li> </ul>
----	------	--	--	--

## 参考情報

中高生のインターネットの利用内容



中高生の平均利用時間

